

留萌管内の各小中学校において、子どもたちの学びの充実に向けて日々授業改善に取り組んでおられますことに敬意を表します。本号では、12月に行われた各小中学校での取組のうち6校の取組をとりまとめましたので紹介します。

① 要請訪問を活用した授業改善の取組

小平町立小平中学校の取組 “校内研修の充実”

12月5日(月)小平中学校は、義務教育指導班2名を派遣要請し、第1学年理科及び第3学年国語科の授業参観及び授業改善に向けた協議を行いました。小平中学校教員と指導主事が車座になって授業改善の方向性について協議しました。



【第1学年 理科 佐竹教諭】



【第3学年 国語科 田中教諭】



【研究協議の様子】



協議では、授業者の「より良い授業をしたい」という熱意から、授業づくりを端緒に、発問の仕方や指導技術、ICTの活用方法など協議内容も多岐にわたり、先輩教員の経験に基づく助言や、指導主事からの学習指導要領との関連からの説明も行われ熱心なものとなりました。今後も、小平中学校では、この取組を継続し、今年度は月1回程度(国語、社会、数学、英語、理科等)で実施を予定しています。

遠別町立遠別中学校の取組 “オンラインによる効果的な活用”

遠別中学校は、年間複数回の学校教育指導訪問を要請し授業改善に向けた取組を進めています。

12月19日(月)には、日常の授業改善を目的として指導主事1名を派遣要請し、Google meetによる短時間での要請訪問を行いました。

内容は『1単位時間の授業参観+授業者と指導主事の1対1による30分程度の事後協議』をパッケージとした取組です。①発問の在り方、②説明の仕方、③ICTの活用について検討しました。特に、「生徒中心の授業」の在り方について協議を深めることができました。



【第1学年 社会科 高薄教諭】



【協議の様子】

今後、遠別中学校では、2月に要請訪問を予定しており今年度の取組の成果や、次年度に向けた研究の方向性についても協議を行っていく予定です。

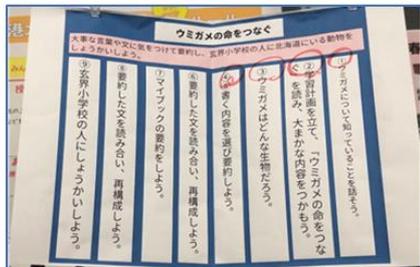
なお、要請訪問については、例えば、授業に係る困り感の解消や指導技術の向上、次年度に向けた校内研修に係る協議等、学校のニーズに合わせて上記複数名の派遣要請やオンラインによる要請も可能です。希望する教育委員会並びに学校におかれましては留萌教育局義務班あてご相談願います。

② ICTの活用による授業改善

留萌市立港北小学校の取組 “道外の小学校との遠隔交流授業”

12月6日(火)第3・第4学年(宮浦教諭)国語科の授業では、福岡市立玄界小学校とオンラインでつなぎ交流を行いました。国語科で児童自身が選書した北海道に関わる本の内容を発表する活動です。今回は、交流会の運営も児童自らが行き、港北小学校の児童が発表をし、玄界小学校の児童が発表について質問する形で行われました。

港北小学校の児童は、いつも以上に相手を意識して何をどのように伝えれば良いのかを考え原稿を作成するとともに発表を行いました。玄界小学校の児童からの質問にも適切に受け応える姿が見られました。



【国語科 本単元の指導計画】



【遠隔交流授業 発表の様子】



授業後子どもたちは「道外の学校の人と交流するのは楽しい！」と笑顔で話しており、オンラインによる交流を通じて、「相手意識の醸成」「学習意欲の向上」「オンラインでの発表の仕方」など、これまでの学習活動では得られなかった学習効果の高まりが見られました。

③ 指定事業を活用した研修会による指導力向上の取組

留萌市立東光小学校の取組 “体育科指導法研修会の実施”

留萌市立東光小学校は、小学校体育エキスパート教員である深井幸恵教諭を講師として12月2日(金)に上記研修会を行いました。指導に対する困り感を払拭し、児童生徒にとって楽しくより良い体育の授業をどのようにつくっていくかについて、管内の先生方15名と研修を行いました。



【講師 深井教諭】



【研修の様子】



深井先生から、これまでの優れた数々の実践を惜しみなく参加者に提供していただき、参加者は自ら体を動かしながら、「運動に取り組める環境づくり」や「効果的な指導につながる用具」などについて学び、実りある研修とすることができました。

羽幌町立羽幌小学校・初山別村初山別小学校の取組 “国語科の授業づくり研修会”

本通信第8号でも紹介したとおり、羽幌町立羽幌小学校・初山別村立初山別小学校は授業改善推進チーム事業による授業改善を行っています。

12月15日(木)当日は、悪天候のため上記研修会延期となりましたが、今後日を改めて実施します。内容は、授業改善推進チーム教諭の羽幌小学校佐藤元希教諭初山別小学校藤澤伸枝教諭と義務班が連携し、令和4年度全国学力・学習状況調査の出題問題を基に実際に単元の学習指導計画の作成などを行います。

なお、研修・内容については、留萌教育局義務班から提供可能です。教育委員会並びに学校におかれましては活用についてもご検討願います。



Accompaniment Program 『C.M Support Caravan』 について

留萌教育局では、全国学力・学習状況調査等を活用し学力向上に向けた中学校区における取組の方向性について検討する場を企画しております。市町村教委担当者、各中学校区の管理職及びミドルリーダー教員(研修担当等)の皆様と義務班が車座になって次年度に向けた議論を行い「検証改善サイクルの充実」を目指します。

詳細につきましては、別途要項等を近日中に発出予定です。活用に関わるご相談につきましては義務班までお願いします。